

# 平群

Heguri

## ≡ 議会だより

### 6月定例会

No.272

令和元年8月1日  
発行:奈良県平群町議会

### 第3回定例会(6月)

議決結果	2
質疑あれこれ	3~5
選挙管理委員及び補充員の推選	6
文教厚生委員長報告	7
議員提出議案	8
町政を問う! 一般質問	9~13
町の話題	14



**“ラジオ体操”みんなで楽しく介護予防**  
(令和元年6月21日 開催 地域包括支援センターにて)

# 第3回定例会 こんなことが決まりました

第3回定例会は6月4日～14日まで11日間の会期で開かれました。

初日は、町長提出の8案件と議員発議1件が上程され審議しました。このうち、町長提出の8案件は即決し、議員発議の国民健康保険税を引き下げる条例改正議案は文教厚生委員会に付託して、5日に審議しました。

一般質問は11、12日に行い、10名の議員が様々な町政課題について質問・提言しました。

最終日は、文教厚生委員会の審査結果報告をうけ採決を行い、議員発議の「議会議員報酬を20%削減する」条例改正議案と意見書2件が上程されました。

このうち「議会議員報酬を20%削減する」条例改正議案については、「議会議員報酬を15%削減する」修正動議が提出され、修正動議が可決されました。

## 議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	岩	長	山	井	稲	植	山	森	窪	下	馬	山
			崎	良	本	戸	月	田	口	田	中	本	田	
			真	俊	隆	太	敏	い	昌		和	一	隆	仁
			滋	一	史	郎	子	ず	亮	勝	子	郎	夫	樹
町長提出議案	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度平群町一般会計補正予算(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○
	令和元年度平群町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推せんにつき意見を求めることについて	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案	平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	否決	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	
	平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	修正可決	※修正案が可決のため採決せず											
	平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例に対する修正案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●
	10月からの消費税10%への増税中止を求める意見書(案)	否決	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●
	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書(案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は採決に加わりません

# 質疑あれこれ

6月議会に上程された議案及び  
質疑を紹介します。



## 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

「働き方改革」の一環として労働基準法に時間外労働の上限規制が定められたこと、人事院規則に同様の改正が行われたことに伴うもの。

**専決処分 令和元年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（1号）**  
前年度の実質収支135万6千円の赤字を繰上充用するもの。

## 主な質疑

**質問** 昨年度の実質単年度収支が221万円の赤字になった要因は。

**答弁** 起債の償還額の減少が一番の要因。

時間外労働の上限は、①通常：1カ月30時間かつ1年で300時間、②他律的業務の比率の高い部署：1カ月80時間かつ1年で600時間で、2～6カ月のいずれの期間においても1カ月あたりの平均が60時間以下、1年のうち30時間を超えて超過勤務を命ずる月数は年6カ月まで。特例業務（大規模災害への対処や緊急に処理を要するもの）については上限時間の規定を適用しない。上限時間を超えた場合、超過勤務を命ずることが公務の運営上やむを得なかったか事後的に検証を行う。

## 主な質疑

**質問** 時間外労働を月30時間、年300時間に設定した根拠は何か。

**答弁** 近隣の自治体、県の部局等の要綱を参考に、職員組合とも協議して決定した。

**質問** 時間外手当がつかない管理職にも適用されるのか。

**答弁** 適応される。

**質問** 管理職も含め労働時間を全部把握するとのことか。

**答弁** 休日の勤務は勤務命令を出しているが、平日は出していないので、自主申告とか、検討課題はあるが把握していきたいと考えている。

## 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

災害弔慰金の支給等に関する法施行令の改正に伴うもの。

①貸付利率の設定及び保証人の要件の緩和：現行の「貸付利率年3%、保証人必要」を、「保証人立てれば無利子、保証人なし利率

年1.5%」に  
②償還方法：現行の年賦償還、半年償還に加え、月賦償還を追加する。

## 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

家庭的保育事業等の運営基準等について省令が改正されたために、所要の改正を行うもの。

## 介護保険条例の一部改正

介護予防に資する新たな事業を実施するための条文規定と、消費税増税による低所得者の負担軽減策として第1段階から第3段階の介護保険料を今年度から軽減するもの。

保険料軽減は、第1段階が現行の基準月額×0.45を今年度0.375に、来年度0.3に。第2段階が現行の基準月額×0.65を今年度0.525に、来年度0.4に。第3段階が現行の基準月額×0.7を今年度0.675に、来年度0.65になります。

## 主な質疑

**質問** 介護予防の新たな事業の

具体的説明を。

**答弁** 国の交付金を活用して健康づくり意識向上プロジェクト事業を立ち上げるもの。具体的には、高齢者50人に活動量計を配布して、歩数距離・消費カロリー・脂肪燃焼量などの活動量データを収集し、高齢者自らが個々の介護予防と健康維持に対する関心を意識するため、一人一人の健康づくりを促進し健康寿命を延ばすことを目的として実施。また、得られたデータを分析し、第8期平群町介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定に反映させることも介護予防事業が介護保険事業に与える効果・影響を今後平群町における地域包括やシステムの進化・推進に役立てる。

**質問** 50人はどのように選ぶのか。

**答弁** 65歳から80歳で均等な形で公募を行って、希望をされた中から年齢別である程度抜粋しながら選びたい。

次頁へ続く

**質問** 保険料軽減による影響額は。

**答弁** 第1段階の差額が年額47000円、今年2月現在944人で443万68000円。第2段階で78000円×349人で272万22000円。第3段階で差額15000円×318人で47万70000円。合計1611人で763万60000円。

## 令和元年度一般会計 補正予算(2号)

補正総額は5958万9900円。歳出は、下垣内集会所新設開設設置補助金2000万円、用地造成・道路拡幅経費3000万円)、幼児教育無償化関連経費958万9900円。歳入は、「五くじ」補助金1500万円、国庫補助金893万2千円、財政調整基金繰入金865万7千円となっています。

## 主な質疑

**質問** 幼児教育無償化、認可外も対象になるが、どれぐらいの利用者を見込んでいるのか。手続きはどのようになるのか。



**答弁** 今の時点で施設はわかるが人数は把握していない。概算で20名計上している。手続きは現在、個人申請なのか、施設の申請なのかはつきりしていない。今後、国から通知がくると思う。

**質問** 幼児教育無償化による人数等の全容はいつ頃わかるのか。条例改正等、行政としてのスケジュールは。

**答弁** 3歳～5歳は全員なので把握しているが、0歳～2歳は非課税世帯が対象なので今後照会をかけて明らかになる。認可外は受付した段階で、全容は8月から9月にわかると思っている。

条例改正は9月議会で予定。周知は8月頃から詳細がわかり次第、段階を追ってしていきたい。

**質問** 町長の開会挨拶で、昨年度の一般会計の実質単年度収支が1億4600万円の赤字ということだった。この結果、実質収

支と財政調整基金を合わせた剰余金は1億7000万円程度になるといふことか。

**答弁** 昨年度決算の実質収支は7700万円の黒字。財政調整基金が約1億円程度なので、1億7000万円程度になる。

**質問** 下垣内集会所建設の関連で、建設そのものは何ら問題はないが、1450万円でネット公売に出していた町有地を無償貸与し、予定地の前の道が狭くて集会所が建設できないので道路の拡幅と用地の整地に3000万円計上しているのは非常に疑問。

下垣内地区の場合、下垣内北住宅跡や下垣内住宅に空き地もあるのに、当該地に選定したのはなぜか。

**答弁** 昨年より当該自治体から、現在の集会所が平成29年、災害時に屋根が飛ぶなどの建物破損があるなど老朽化が激しく早急に建て替えを考えている。現在の場所は手狭なので、どこか町有地で活用できればと相談を受け協議してきた。

使える町有地を選定した結果、下垣内北住宅跡は売却しやすい物件と判断し住宅等に転用した

いと判断。下垣内住宅は市街化調整区域で建築要件も含めて勘案した結果、非常にハードルが高いと。今回の予定地は市街化区域といふことと公売で売却できなかったことから立地誘導するのによぶさかでないかと判断した。3000万円は多額な費用だが、集会所の隣接地も市街化区域、第1種住居地域なので、道路整備、最低限のインフラ整備をすることで、

地権者の考えもあるが、将来その土地の利活用、開発等を見込んだ上の一定の投資として予算措置した。

**質問** 今回の建設予定地について、財政が大変なのに周辺整備に3000万円もの町費を使うのは理解できないとの声があがっている。住民の理解が得られるのか。

**答弁** 道路拡幅で集会所建設予定地の北側で約990坪、西側で2000坪、民間開発が促進されることで安定した固定資産税が見込めることなど、総合的に考えてこの場所になったといふことで、理解を得るよう努力していきたい。

**質問** 下垣内の老朽化した公

民館、あのままでは支障があるから予算計上したはず。自信持った予算かどうか聞かせてほしい。

**答弁** 自治会に対して、住民の安心安全を守るため、できるだけ支援していくことは住民の理解が得られると考えている。

**質問** 下垣内北住宅跡は売却しても2400万円くらいと思う。道路等で3000万円負担するならば住宅跡に持つていくべき。地元自治会に北住宅跡での検討を投げかけたのか。

**答弁** 北住宅跡も協議していただいたが、立地等から当該地になった。

**質問** 現在の集会所はどうするのか。

**答弁** 底地を売却の方向で考えている。

## 反対討論

\* 今回のこの補正予算、特に集会所建設に関わる周辺整備のやり方にちょっと問題がある。周辺整備に3000万円もの町単独

費が必要な、そういう場所を選定したことは納得できない。他の場所を議員も提案との意見もあったが、それは執行権のある町が決めることで、議員が「いいところ」と言いつつ問題。今回の町のやり方は「町財政を毀損させる行為」であるとの思いから反対する。

\* 下垣内自治会館、建てることじゃなくて、用地の場所、建てる場所が下垣内以外の住民の納得が得られないという立場から反対。

\* 財政が大変なところに町単独で3000万円つぎ込むと。老朽化した集会所の建て替えは何も問題ない。ただ場所が新たに整備費用がかかり、そのほとんど借金をしてというところは慎重に考



えるべき。補正予算のこのほかにについては問題ないわけだから、その部分を外して提案すべきだった。そしてこの問題もっと徹底的に議論すべきところ、きちっと議会に対しても行政側として持つべきことだったんではないかというところも含めて反対する。

### 賛成討論

\* 老朽化した公民館建設にコミュニティ助成事業が採択されたことで安全対策として道路整備の予算計上は当然のことと認識している。また幼児教育の無償化に関する予算も計上されていることで、子育て世帯の経済的負担の軽減を通じて、少子化対策に歯止めをかけていくということと、家庭の経済的事情による教育格差を無くし、貧困の連鎖を断ち切っていくという意義からのものであり、大変大事な補正予算なので賛成する。

\* この補正予算が否決になれば、1500万円の宝くじの交付金が飛んでしまう。地域住民の方が今計画を建築会社とされているでしょう。最終的には3月31日まで、集会所の建設を完成しなければならぬ。町道拡幅に伴う集会所の予定地を町が提供したという認識。

地域住民にとってよりどころの館。地域住民の方々と行政がここでいいと、互いに話し合いで決定された場所。今回その予算であるというのを認識をしながら、一日も早くこの道路を拡幅することを祈念して賛成する。

\* 今回の補正は下垣内自治会集会所の新設工事及び道路、町道拡幅工事と、幼児教育・保育無償化の制度導入にかかる事務経費。下垣内自治会の集会所の老朽化は酷く、新設することはありがたいこと。建築基準を満たす工事に約3000万円を投入することになるが、近隣の遊休地が活性化することでも非常に期待が持てる計画。とはいえ、大変厳しい町財政の中、しっかりと財政の課題に向き合っていたら町政運営をされるよう、お願いして賛成する。

\* 公民館、自治会館に関しては全員ほぼ賛成というところで、あとは場所の選定というところ。この予算が通ったとしてももう一度再

考していただくことをお願いして賛成する。



字となっている。

#### 質問

6486万円の赤字ということは、今年度の償還金を差し引いても介護保険会計に約4億円あるというところ。計画では昨年度から3年間で1億5000万円の赤字になることになっているので、今年度と来年度で2億2000万円赤字にならないかと思っ

### 令和元年度介護保険特別会計補正予算（1号）

補正額は351万4千円。介護予防事業として新たに「健康づくり意識向上プロジェクト事業」を実施する経費で、全額国庫補助。

#### 主な質疑

**質問** このままいくと再来年度の7期終了時点で5億円余る可能性が高いと思うが、現時点で3億9708万円残っているのは間違いなのか。

**答弁** 基金残高は4億円で間違いはない。

**質問** 町長は開会挨拶で昨年度の実質単年度収支について、一般会計と住宅新築資金特別会計、国保会計について話したが、介護保険には触れなかった。それは意図があるのか。

**答弁** 特に意図はない。介護保険特別会計は6486万円の黒

# 選挙管理委員及び補充員の推選

選挙管理委員及び補充員の任期が8月29日で満了することに伴い、各4名の委員を指名推選しました。



## 選挙管理委員会委員

氏名	住所
井田 和夫	平群町 西宮
安田 朝四郎	平群町 梨本
高見 すみ子	平群町 櫛原
安村 則寛	平群町 福貴畑

## 選挙管理委員会委員補充員

順位	氏名	住所
1	南 秀紀	平群町 久安寺
2	室 キ又	平群町 竜田川
3	廣瀬 正彦	平群町 吉新
4	水 船 徹	平群町 菊美台

## 人権擁護委員候補者の推薦

### 野口 智恵子 氏

平群町 福貴畑



野口智恵子氏は適任であるとの意見で答申することに決しました。

## 議会の動き

### 議会運営委員会

5月24日

- \* 令和元年平群町議会第3回定例会の議会運営について
- \* 議会基本条例の検証について

### 公共交通対策特別委員会

6月19日

- \* コミュニティバス運行事業の報告及び計画について

## 町議会をネットで視聴できます



平群町議会は、本会議の様子をインターネットで平成26年9月議会から録画配信していますが、スマートフォンでも視聴が可能になりました。町のホームページからアクセスできます。



ご意見  
お寄せください

本紙へご意見をお寄せください。今後の紙面作りに活用させていただきます。

\*FAX 49-0145

\*メール gikai@town.heguri.nara.jp

# 文教厚生委員長報告

## 平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

この条例は、平成29年度に前年度比1・6倍の増税をした結果、黒字になったことから、国民健康保険税を約3000万円、1世帯平均1万2000円程度引き下げを行うものです。

**質問** 昨年度の実質単年度収支額と剰余金を含めた合計額はいくらか。

**答弁** 実質単年度収支は約3700万円の黒字で、合計で6600万円。

**発議者に質問** 資料のモデルケースで平群町は県の標準料率の額より格段に高い。近隣の状況はどうか。

**答弁** 「給与年収350万円の4人家族(40歳以上の夫婦と子ども2人)のモデルケースで、現行の平群町の保険税と県の標準料

率とを比べると、現行の方が6万2700円高い。同じモデルケースで斑鳩町は1万7000円、三郷町は4万1100円安い。平群町は今回の引き下げをしてもまだ県の標準保険料率より3万3100円高い。

**質問** 非常に高い保険税をまだ2年間住民に求めることへの町長の見解は。

**答弁** 国保会計は継続的に、安定的に運営する必要がある。そのため、ある程度の基金が必要。また保健事業を行う財源確保も必要。県は令和3年度に納付金の見直し等を行うため、町も令和2年度中に県の納付金の状況、保健事業等精査し、県と協議しながら見直しを行っていききたい。

**発議者に質問** 町長答弁に対する見解は。

**答弁** 平成29年度の1・6倍の引き上げの説明は、1・6倍引き上げても29年度末の国保会計

は2億5000万円の赤字が残る。それを6年後の県内統一保険料までゼロにするとしてきた。しかし全く違う結果となり、昨年度も3700万円の黒字、今年度も赤字要素も無いため3000万円の引き下げは精査すればわかる。

**質問** 減少している国保加入者の数字を県が反映していれば、基金の積み増しも出来たのではないか。また県が町の引き下げを止める要望があったのか。

**答弁** 加入者の数字は29年10月の低いほうの5099人を基に納付金の算定がされた。令和6年度の納付金の算定方法も変わる。現時点では令和2年まで協議の上、保険料据え置きとなっている。



**質問** 保健事業の費用額は。

**答弁** 昨年度決算状況から、特

定検診、保健事業含め約3000万円程度。保健事業に関して県は、国の保険者努力支援制度など利用して行い、県の特別調整交付金は基本廃止の意向。

**質問** 西和7カ町の29年度の基金状況はどうか。

**答弁** 29年度末で斑鳩町・安堵町は基金ゼロ、三郷町1億6100万円、上牧町4億6900万円、王寺町1億2700万円、河合町3億4000万円。

**質問** 特定検診や人間ドックなどの保健事業の認識は。

**答弁** 健康の保持増進を後押しできる制度を今後も堅持していききたい。

**質問** 健全な国保運営のため、基金1億円を一つの目安にするべきではないか。

**答弁** ある程度の基金保有は考えないといけない。それも含め令和2年度に検証する。

## 反対討論

最小限の引き下げ改正案には

一定理解はするが、中間年度の見直しまで引き下げは時期尚早との意見や、令和2年度には、税率見直しを検討すべきだが、納付金が上がれば剰余金を活用できる。減税は一時的に国保加入者へ還元はできるが、今後の推移を見ての判断が賢明。県は保健事業の補助金を削減する方向であり、剰余金があれば保健事業を、ある程度維持できる。余力を持った財政で対応すべきなどから反対する。

## 賛成討論

29年度の1・6倍の大幅な国保税引き上げの理由とは全く違う結果によって、6600万円の剰余金が積みあがった。その一部約3000万円を住民の命や暮らしを守るために投入することは必要であるとの意見や、県制度の問題などで町は大きな損失を受けた。県への抗議の意味を込め引き下げに賛成する。

採決の結果、本議案は否決すべきものと決定しました。

文教厚生委員会

委員長 植田いずみ

# 町政を問う! 一般質問一覧

森田 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.第2次財政健全化計画の推進状況は</li> <li>2.避難所になっている旧南保育園の代替は</li> <li>3.「もったいない運動」に取り組んでは</li> </ol>
井戸 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.庭から出る葉っぱなどのゴミ、無償化に</li> <li>2.こども園、小学校の流行性ウイルス、感染症対策のさらなる強化を</li> </ol>
馬本 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.信貴山地区児童生徒通学費助成金交付要綱について</li> <li>2.町道西山麓線（旧・西和広域農道）の先線計画について</li> <li>3.平群町人権交流センター移転に伴う新施設の運営について</li> <li>4.公共交通空白地域解消を</li> </ol>
稲月 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.交通弱者対策について</li> <li>2.安心・安全な生活道路環境整備について</li> <li>3.長引くメガソーラー建設工事現場について</li> </ol>
窪 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.（仮称）平群町文化センター・図書館の充実した整備について</li> <li>2.高齢者や障がい者の災害時の避難対策について</li> <li>3.食品ロス削減のさらなる取り組みについて</li> <li>4.森脇橋東詰交差点に横断歩道の設置について</li> </ol>
山本 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.教育環境の整備充実について</li> <li>2.地域共助を利用した子育てサポートについて</li> </ol>
長良 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.学校教育の充実について</li> </ol>
下中 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.住民参画のまちづくりについて</li> <li>2.新規就農者について</li> </ol>
山口 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.町財政の現状と今後の見通しについて</li> <li>2.高すぎる国保税の引き下げを</li> <li>3.椿井のホームセンター出店計画について</li> <li>4.樺原地区の農地への不法投棄の改善を</li> </ol>
植田 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.こども園の待機児問題について</li> <li>2.菊美台地域のバス通学の利便性の向上について</li> </ol>

## 議員提出議案

平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

(否決)

提出者 山口 昌亮  
賛成者 森田 勝

平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について

(修正可決)

提出者 下中一郎  
賛成者 岩崎真滋／長良俊一／山本隆史／窪 和子／馬本隆夫

平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例に対する修正動議

(可決)

発議者 井戸太郎／森田 勝

10月からの消費税10%への増税中止を求める意見書(案)

(否決)

提出者 植田 いずみ  
賛成者 稲月 敏子／山口 昌亮

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書(案)

(原案可決)

提出者 稲月 敏子  
賛成者 植田 いずみ／山口 昌亮



# 避難所になっている 旧南保育園の代替は



森田 勝

## 質問

昨年7月の西日本豪雨で逃げ遅れによる犠牲者が多く出たことを教訓に、避難に関するガイドラインを改訂され、5月29日から運用を始めた。

この改訂ガイドラインによると、大雨時に自治体が出す避難情報と気象庁が出す防災気象情報を5段階の警戒レベルで表し、警戒レベル1・2は気

象庁が、警戒レベル3・4・5は自治体が発令する事になった。

具体的には警戒レベル3で避難準備、高齢者等避難開始、警戒レベル4で避難勧告、避難指示となっている。

しかし、町が避難勧告、避難指示を発令しても、西宮・春日丘・日立団地の避難所の旧南保育園は2015年廃園になって以来、全く使えないが、これで良いのか。また、西山間部の避難所となっている、旧西小学校は2014年廃校になり、本年度中に旧南保育園と一緒に売却する事になっているので、旧西小の代替避難所が必要では。

## 答弁

旧西小は、現在使用可能であり売却状況を見て代替施設に変更指定、旧南保育園は、プリズムへぐりを仮避難所とし、関係自治会に周知。本年度この変更を含めた地域防災計画の改正を行う。

# 庭から出る葉っぱなどのゴミ、 無償化に



井戸 太郎

## 質問

多くの住民の方から、剪定した葉や枝の処分を無料にしてほしいという声を聞く。

第5次総合計画において、平群町は街づくりの基盤に田園の町をうたっている。「田園風景の広がる緑豊かな街」のためには、住民の方々の協力、庭木の維持が必要。平群町の住宅の多くが第1種低層住宅地域で、建ぺい率や容積率が低く抑えられ、住宅敷地内に樹々を植える等、ゆったりとした庭づく

りを勧めている。街づくりに協力している方々の負担は少なくすべき。

また、ごみ有料化は、ごみ減量が目的。庭木の剪定から出る葉や枝は、ごみ減量に対する意識とは関



係なく、剪定に応じた量が出る。無償化しても、ごみは増えない。

生駒郡の他の3町は、斑鳩町は一般ごみと区別し45ℓで20円、三郷町は無料、安堵町も無料。

平群町のみが一般可燃ごみとして扱う。

庭の維持で出る枯れ葉等の処理をぜひとも無償化していただきたい。

## 答弁

無償化については、現状考えていない。様々なご意見を調査し、今後の検討課題としていきたい。

# 町道西山麓線の先線計画について



馬本 隆夫

## 質問

西和広域農道は農業の生産規模拡大と農産物の流通合理化を図る目的で、S58年から約20年間で、かけて平群町鳴川〜県道信貴山線までの延長8220mの道路整備が完了、H16年4月には町道認定され全線が供用開始となりました。南は県道信貴山線に接続、北は狭隘で曲がりくねった町道鳴川線に接続、町は拡幅に努力されてきましたが現在も見



通しが立っておりません。あくまでも鳴川線は西和広域農道の接続線であり、ます。西山麓線は、農産物の流通、野菊の里斎場、朝夕の通勤時など利用される年々交通量も増加をしております。鳴川大橋から生駒市への先線計画は重要と考え、H19年3月議会にて一般質問、事業部長は「先線計画については生駒市も含む関係機関とルーフト、事業手法などを研究してまいります」と答弁をされました。そこで11年間の進捗状況と今後の取り組みについてお答えください。

## 答弁

生駒市への先線計画は、国道168号線の渋滞緩和や緊急避難・輸送道路など、様々な効果が期待できます。まず事務者レベルで生駒市・三郷町と個別の協議を深め、2市4町で構成する郡山土木協議会等も活用してまいります。

# 交通弱者対策について



稲月 敏子

## 質問

年々高齢化率が高くなり、運転できる人がいなくなつた世帯の増加や、高齢者の交通事故多発から免許返納者が増え、いわゆる交通弱者人口が増加している。坂の多い本町では

ても、予測不能の事態で、西山間から徒歩で往復した高齢者の実態があるが、今後の対応についてどう考えるか。

運転不能になると買い物、通院すら困難となり、転居者も増えている。高齢になつても住み慣れた平群町で暮らせるよう公共交通の検討・充実が急務である。

①10連休のコミバス運休は予告され準備してい



②NCバス若葉台路線の停留所の変更や検討への考えはあるか。  
A コープ前のバス停(平群駅方面行)設置や若葉台西部(坂の上)地域の(昼間だけでも)路線拡大など。

① 全面運休をした。問い合わせが10件程度あつた。事前に周知徹底を強めていく。柔軟な対応も考えていく。

② A コープ前バス停は過去にも検討したことがあるが困難と考える。路線の変更、停留所の変更は地域住民・自治会からの要望に基づいて検討していく。

# 食品ロス削減のさらなる取り組みについて



窪 和子

## 質問

まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」は、日本で年間643万トンと、日本人1人当たり毎日お茶碗1杯分のご飯を捨てていることに相当する中、食品ロスの削減をめざす「食品ロス削減推進法」が、公明党のリードで、5月24日に可決成立。多様な主体が連携し「国民運動」として取

り進むことになりました。  
①平成28年3月議会で提案する中、食品ロス削減に対する本町の取り組みについて。

②会食や宴会の最初の30分間と最後の10分間は料理を楽しむことで、食べ残しを減らすために「30・10運動」を呼びかける取り組みについて。

## 答弁

①賞味期限が迫る災害時備蓄品は、防災イベントや訓練の提供に加え、できる限り廃棄処分を避けるため、必要とする人へつなぐ奈良県フードレスキュー事業に提供し食品ロスは解消。ごみ減量フェスタでもフードドライブを開催し2年間で約75kgの食材が集まる。「町食品ロス削減推進計画」を策定しさらに啓発する。  
②「30・10運動」を町内の飲食店にも呼びかけ、本町としても率先して取り組み、広報紙等でも啓発に努めます。

# 教育環境の

# 整備充実について



山本 隆史

## 質問

平群中学校では現在、13の運動部と5つの文化部があり、生徒への指導・対応や安全確保の観点から、各部には基本的に2名以上の顧問教員で36名の配置が必要となりますが、今年度は30名で運営、令和2年度は生徒数減の見込みもあることから、令和2年度より、陸上部、男子ソフトテニス部、英語部の募集を停止することになりました。その後、現役部員が引退した年度末に廃部となります。

なぜ3部が廃部対象となったのか、他の部活を存続させる努力は?

## 答弁

来年度は生徒数の減少に伴い、部員数の減少や男女のバランス、指導教員の専門性など、安全な部活動の運営の観点から総合的に判断したもので、試合に参加できないことが起きる可能性がある個人競技の募集を停止する報告を受けております。

教育委員会としまして、部活動が安定した運営ができるよう、部活動指導員制度に係る県の補助事業の採択を受け、本年度3名の部活動指導員を配置し、以前よりボランティアで部活指導を行っていた方々にも、継続してご支援をいただいております。



# 学校教育の充実について



長良 俊一

## 質問

来年度から実施の新学習指導要領に関し本町学校教育の状況について

①学校のICT教育の充実のため、小・中学校の子どもたちが使うパソコン等の整備状況は。

②小・中学校の通知表は、子どもたちの大切な記録であり目安になる大事な情報である。近隣の学校



との違いがあると聞き、本町の小・中学校の通知表はどうなっているか。

③新学習指導要領において、小学校の外国語教育が開始されるが、本町では、早くから外国語指導助手を学校に配置するなど外国語教育に取り組まれている、状況はどうなっているのか。

## 答弁

①現在、各校概ね40台のノートパソコンを配備しており、複数台の電子黒板、デジタル教科書などを活用し創意工夫ある取り組みを進めている。

②通知表は、成績などの学校生活の記録で、学校毎で違いがあります。本町の小学校では3段階評価、中学校では5段階評価で、所見欄や懇談を通じて子どもたちの理解が深まるようになっています。

③外国語教育については、来年度からの本格実施にスムーズに移行できるように進めています。

# 新規就農者について



下中 一郎

## 質問

本町の農業は、恵まれた大地と、大都市近郊という好立地条件のもと、多様な農産物が栽培・出荷され、市場においても、消費者の間でも、高い評価を受けています。

このような活気あふれる農業ではありますが、全国的な問題でもある後継者問題であります。

とりわけ、本町においては、菊・バラ・イチゴ・ブドウ等の栽培農家では、他の地区と同様に担い手の高齢化が進んでいますが、次



の担い手である若手経営者が熱意をもって農業に従事しています。しかし、全国的に見れば、ごく一部であり、早急に対策をたてる必要がある。

## 答弁

次の担い手である若い人が、農業に魅力を感じ、就農する環境づくりが必要ではないか。

就農後の定着を目的として、就農当初の所得を確保するための補助制度や設備投資等に対する貸付制度など国の各種補助制度が充実しており、県の方でも、経営作物の相談やそれに対する研修先のあっせん、インターンシップ制度等があります。

町としても、これらの補助制度を積極的に活用し、農業委員会や各種生産者団体とも連携しながら推進していく所存です。

# 椿井のホームセンター 出店計画について



山口 昌亮

## 質問

椿井地区へのホームセンター出店計画について  
① 昨年12月議会の説明では、事業者から「店舗規模拡大」の話があり協議しているとのことだったが、その後どのようになっているのか。  
② 計画地の雑草除去等の管理について12月議会で「管理を徹底するよう指導する」とのことだった。

## 答弁

たが、樹木が生い茂るなど悪くなっている。指導の具体的内容の説明を。  
③ 店舗規模の拡大で関係機関との協議等で建設が数年先に延びるのであれば、現状のままでの放置は防犯や景観上も許されない。町としても具体的な方策を検討すべき。

① 事業者からの店舗拡張の用途変更を受け、県と協議し、事業者に「土地利用計画図」の提出を求めているが、まだ出ていない。早急に具体的な進捗状況を説明するよう指示している。  
② 今年6月中に国道沿いを除く道路沿い2.5m幅の草刈りをすることを確認し、8月末を目途に全面草刈りを要請している。  
③ 土地の保全管理を事業主にきびしく要請する。

# 菊美台地域のバス通学

## 利便性向上について



植田 いずみ

## 質問

菊美台の保護者から、バス通学に関するご意見をいただいた。4丁目の地域は若い世帯が比較的多く、今後も住宅建設等で通学する子どもたちが増えることが予想される。現在4丁目地域の児童は、徒歩で東山駅まで行き、緑ヶ丘循環のバスに乗りして北小前で降車している。昨今、子ども達が川崎や大津の事件・事故で犠牲になる事案や、猛暑等で体調不良に陥ることも考えられる。



現在、菊美台地区の北小在籍児童82名の内約半数がバスを利用している。地域の実情も聞き、安心・安全の通学のひと

## 答弁

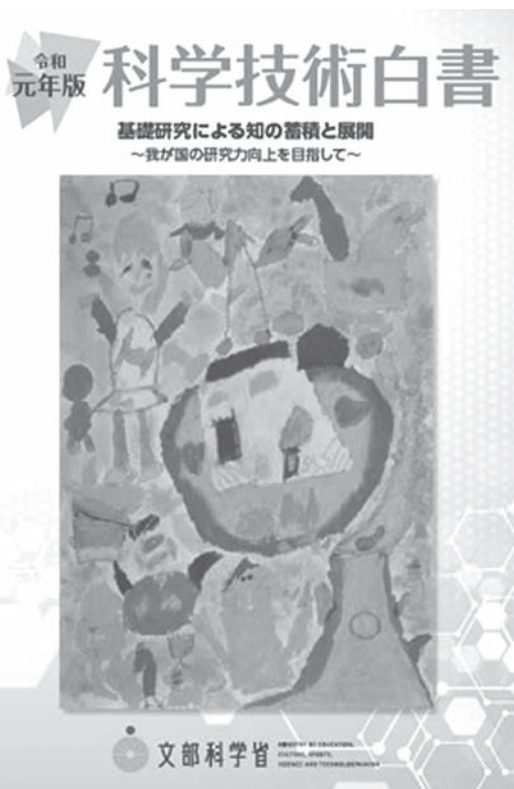
バス路線の変更などは、自治会等地域住民などからの要望書の提出が基本となり地域住民と行政及びバス事業者で協議を進める。現実的には、新たな路線許可が必要になる可能性があるが、要望が提出されればバス事業者と協議していきたい。

# 町の話題

平成31年版科学技術白書表紙絵・デザインコンクール

## 最優秀賞受賞

平群南小3年 木村摩尼さん



平群南小学校3年生の木村摩尼(きむら・まに)さんが文部科学省が募集した「平成31年版科学技術白書表紙絵・デザインコンクール」の最優秀賞を受賞し、令和元年版の同白書の表紙を飾りました。

科学技術白書は文部科学省が毎年発行しているもので、平成23年度から白書の表紙の絵・デザインを募集し、最優秀賞作品を表紙に掲載しています。

文部科学省が今回募集した作品テーマは「2050年の未来社会」。摩尼さんの受賞作品は今年1月(2年生の3学期)、学校の図工の授業で描いたもの。先生からのテーマは「未来や将来について」。

摩尼さんが住んでいる信貴山には多くの外国人観光客がやってきます。摩尼さんのお母さんは寺でお仕事をしています。「お母さんも大変だな」と思っていました。ドラえものの「翻訳こんにやく」みたいなのがあったら…、思いついたのがお母さんの大好きなプリン。

「まん中のプリンは、特別なプリンです。そのプリンを食べたら、どの国の人もお話できて楽しいです」。作品に寄せた摩尼さんのコメントです。

摩尼さんの作品は、小・中学生部門644点、一般部門177点の合計821点の応募から最優秀賞に選ばれました。選考委員の先生から「バランスのとれた画面と明るい色使い、素晴らしいです。アイデアも子どもらしく夢のある作品になっています」「プリンが大好きなのではないでしょうか。一口食べることから楽しさが広がっていくのですね。描かれている動物、くだものがうれしそうです」などのコメントが出されています。

山口 記

## 編集後記

新しい議会構成になって初めての定例議会の「議会だより」です。

町政や議会での議論がよく分かる紙面にと取り組んでいます。なかなか難しい…というのが率直なところ。なにかと課題が多く、本紙も俗にいう「かたい」内容になりがちですが、「町の話題」のコーナーなどで、ホットで楽しい話題を届けたいと思います。情報やご意見をお待ちしています。

山口 記



山田議長と編集委員会